

令和 7 年度 関西医科大学大学院看護学研究科
博士前期課程 入学試験問題 冬期 外国語（英語）出題の意図および解答例

問題 1.

1)

【出題の意図】

研究論文における「研究方法」に類似する部分であり、英語論文では一般的にみられる単語・熟語で構成される文章である。この文章を日本語訳することで、英文を適切に読み解く力、日本語として正確に表現できる力を評価する。

【解答例】

この研究は、2002 年から 2004 年に生まれた東京都在住の 3,171 人の青少年が 10 歳、12 歳、14 歳、16 歳の時に実施された調査結果を分析したものである。3,171 人のうち、2,438 人が 4 回すべての調査に参加した。

2)

【出題の意図】

「研究結果」となる部分を説明している文章である。英文の中から結果について述べている個所を的確に抽出し、日本語として正確に表現する能力を評価する。

【解答例】

長期介護者では、14 歳の介護者は介護していない者と比較してより 2.49 倍うつ病を経験しやすく、16 歳の介護者は 2.51 倍自傷行為をしやすかった。また、若年介護者は自殺願望を持つ可能性が 2.06 倍高かった。

3)

【出題の意図】

本文中から適切な文章を選択し、日本語として適切な文章に表現する表現力、単語の意味を正確に把握し、日本語として表現しうる力、また文章中から適切な個所を選択し、要約しうる日本語の文章力を評価する。

【解答例】

長期間介護を行う若年介護者は、そうでない若者と比較して精神的健康問題を経験する割合が高い。

4)

【出題の意図】

本文全体を正確に読み取る読解力、ならびに解釈力を評価する。

【解答】

d

5)

【出題の意図】

若年介護者といった、看護職として支援の対象となる人々への見識について問うことで、社会の課題を自身の課題としてとらえる力、日本語としての語彙力、表現力、文章構成力、論理的思考力を評価する。

【解答例】

若年介護者は学校等に所属している場合が多いが、学校で若年介護者が利用できるサービスを知る機会は現状ではあまり多くないと考えられるため、学校と福祉関連事業所が連携して、このような家族を認識し地域で支えるシステムを構築することが必要である、など自らの考えを述べていること。